

【人と想像力委員会】

委員長 畑 善章

所 信

私たちJCメンバーは明るい豊かな社会を築くために、企業・地域・家庭などにおいてリーダーとしての責任と自覚を持ち行動しなければなりません。

リーダーに必要なものは「信念」と「人間力」であると私は考えます。誰でも信念は持っているでしょう。しかし、それは例えば幕末の維新志士のように、自らの命を懸けてでも信念を貫こうとするほど強いものでしょうか。どれだけ強い信念も生まれながらに持っているものではありません。多くの人々との出会いの中で様々なことを学び、その中から芽生えた「ある想い」が徐々に確かなものとなり、やがて強い「信念」へと変わるのだと私は考えます。つまり信念は熱心に探求してこそ明確になり、さらに確かなものへと深めていくことができるのです。

そして、私の考える人間力とは行動や言動で人を魅了する力、つまり「人としての魅力」です。人は自らの想いを遂げるために必死に考え、ひたむきに行動しながらどんな困難にも立ち向かい、そして克服しようと努力します。想いが強ければ強いほどその人の行動は情熱に満ち溢れ、やがて周りの人の心をも動かすことができるでしょう。私は人間力を培うために最も必要なものは、行動を起こすための「想い」であると考えます。

明るい豊かな社会の実現とはどこかに明確なゴールがあるのではなく、その理想を常に追いつけることが大切だと私は考えます。そのためには私たち大人だけではなく次代の子どもたちにもつないでいける長期的な展望を持って行動する必要があります。子どもたちのキラキラと輝く目の奥にはどんな明るい豊かな社会が映っているのでしょうか。同じものを見ている固定観念や常識などに邪魔をされた大人とはきっと違う見え方をしていることでしょうか。大人は子どもと同じ目線に立ち、見えているものを想像しながら子どもたちが力を十分に発揮できるようにしていかなければなりません。

戦後の焼け野原から見事に復興を果たした日本は高度経済成長に支えられ、世界でも有数の経済大国になりました。物質的には豊かになりましたが社会からは日本精神が薄れ、挨拶や感謝すらしっかりできない精神的に乏しい国になってしまっているのではないのでしょうか。子どもたちと明るい未来を語り合う前に大人である私たちが今、社会的・精神的な規範となる「こころの道しるべ」をしっかりと示さなければならないと考えます。

本年度、人と想像力委員会では自らの「信念」をさらに探求しながら「想い」に向かって情熱を持って行動し、子どもたちに「こころの道しるべ」を示していきます。

基本方針

- 一、「信念」を探求します
- 一、「想い」に対し情熱を持って行動します
- 一、子どもたちに「こころの道しるべ」を示します

事業計画

1. 3分間スピーチ
2. 第16回J Cカップジュニアサッカー大会
3. 中学校講師派遣事業
4. 6月事業例会
5. 40周年記念事業（7月）
6. 8月LD事業例会
7. 会員拡大の絶対推進
8. 各委員会との連携及び支援
9. 理事長諮問に関する事項